

個人会員も募集しています！



たけだ かんじ 会長(荒砥地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る 白鷹町国際交流協会

… 町内の国際交流を目指して …

「白鷹町国際交流協会」会長の竹田寛治さんに、お話を伺いました。

どんな団体ですか

海外からの観光客誘致活動などを目的に平成28年に設立された団体ですが、現在の活動は、町内在住の外国出身者への支援活動が中心です。

白鷹町には10力国以上約200人の外国出身者がお住まいだそうですから、国際色豊かです。

主な活動は

定期的に「日本語教室」を開催して3年になりました。

会員同士で悩み相談や情報交換もできるため、コミュニティとしても機能しています。

日本語教室の特徴は

生活に密着した会話を学びたい方に適した教室です。

単なる言語学習の場ではなく、生活する上で困らないように、地域文化やルールなども学べます。

みんなで日本語の歌を歌ったり、各国の料理を作る企画があったり、楽しいですよ(笑)

大切にしていること

国際情勢に左右されず、会員自身が「楽しい」と感じられる活動であることが大事だと考えています。

家庭や職場以外にも心を開いて話せる人、気軽に交流できる人がいることは大切です。

これからの目標は

参加されているのは外国出身在住者の一部です。すから、もっと多くの方に参加・交流してもらえたら嬉しいのです。

そして、私たち日本人も気軽に交流できたら良いな、白鷹の温かさで迎えられたら良いなと思います。

白鷹町で暮らして良かった、と言ってもらいたいですね。

白鷹町で暮らして良かった、と言ってもらいたいですね。

議会へひとこと

まずは、議員さんにも日本語教室をご覧いただき、国際交流の楽しさを知ってもらえたらと思います。

将来的には、外国出身在住者の相談窓口のワンストップサービス



日本語教室の様子

があれば良いと思います。

取材を終えて

健全な国際交流が白鷹町の未来を豊かにすることを学ばせていただきました。

次の時代では、これまでの文化を大切にしながらも、ゆるやかに多様化した暮らしになっているのかもしれない。(横山)

(白鷹町国際交流協会の問い合わせ先)
白鷹町商工観光課
☎ 85-6126

編集後記



▼令和7年は「熊」の一年でした。主食である木の実の不作に加え、柿など里の味を覚えたクマが軒先まで出没。冬眠しない、できないクマもいるとか。引き続き警戒・対策が必要です。

▼ガソリンの暫定税率が廃止されました。25・1円が安くなります。しかし、物価高には変わりません。毎日の苦労が続きます。

▼令和8年は「午年」。町民皆さまにとって、駆け出したくなるような明るい年でありそうです。(山田)

広報委員

委員長 佐々木 誠司
副委員長・編集長 衣袋 正人
委員 山田 仁
委員 原 俊一
委員 横山 和浩
印刷・梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会議長 菅原隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/1053.htm>

